

協働的な学びを実現（荘内まなびスタイルの中で）

協働的な学びはマストの取組。簡単にイメージすれば実技教科的授業と捉えられます。全員で取り組みましょう。

★単元導入時にゴールを生徒と共有（単元末テストに向けてどう取組むのか？何ができるようになるのか？等）

先行学習課題（授業に繋がる課題）

【重要】教科書読解・まとめ、スタディサプリ等

一単位時間イメージ

5分
～
10分

導入

- ①先行学習内容の押さえ⇒重要ポイントの再確認
- ②教科書の押さえ
- ③「**学習の手引き**」確認（目標提示、評価基準の確認）
★授業目標＝単元ゴールに向けて今日何をさせるのか？

生徒は言葉集中5分限界

Classroomで提示等

展開

- 【大事な押さえ】
個人思考の場面（個人の責任）、ペア確認（課題確認）

Formやスプレッドシートで学習計画作成

協同学習

- 【重要】全員で話し合える課題を提示
・「～を全員が説明できる」
「課題解決策をプレゼンできる」

スライドやキャンバ、ドキュメント等で共有・整理、Chatで教室内やり取り

30分
～
40分

★アウトプット活動

- ①班内個人アウトプット、ジグソー法等で個人で班外へアウトプット等を工夫
- ②グループごとにアウトプット（非効率回避を）
★各自が責任をもってアウトプットするよう配慮
★聞き手の質問力・評価力を高める工夫を配慮

スプレッドシートで評価整理

Web検索自由使い

実施無しでは生徒は沈黙

Formで評価

学習のまとめ

- ①生徒による学習内容のまとめ
★教員が手柄を横取りしない。（足らずを補足）

生徒は言葉集中5分限界

振り返り

- ①自己評価OR他者評価による振り返り
- ②次時へ繋がる課題提示（各課題が単元ゴールに繋がることが重要）
- ③単元末テスト予告（10日前） ★フォーサイト記入

スプレッドシートで振り返り共有

先行学習課題（授業に繋がる課題） & 週課題

Classroomで提示等

協同学習でコンピテンシー育成＝学びに向かう力育成

協働的な学びを進めるうえでのコンピテンシー（資質能力）の育成が最重要

ここまではすぐにできる事！！

自由進度学習（活用場面で導入）

授業内でChat開放
Chatで教室内進捗状況を把握しながら、生徒が独自に学んでいく。

教員が指示しなくても生徒が学習を進める授業

目指す理想